

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年12月18日

計画の名称	宝塚市における安心・安全で持続可能な下水道整備の推進（防災・安全）													
計画の期間	令和０７年度 ～ 令和１１年度（５年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	宝塚市													
計画の目標	宝塚市において豪雨による浸水被害の防止を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりの形成を行う。 老朽化が進行している下水道施設の計画的な改築により、施設保全を図るとともに持続可能な下水道サービスを確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		4,215	A	4,215	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R7当初)	(R9末)	(R11末)
1	雨水ポンプ場の機能確保率を25%（R7）から75%（R11）へ向上			
	雨水ポンプ場（全２施設）のうち、耐震化または耐水化を実施した割合 耐震化実施済みポンプ場＋耐水化実施済みポンプ場（箇所）／ 未耐震ポンプ場＋未耐水ポンプ場（４箇所）	25%	25%	75%
2	老朽化した污水施設の改築実施率（延長）を23%（R7）から25%（R11）へ向上			
	污水管路の整備総延長のうち、改築した污水管路の総延長の割合 老朽化管路の改築総延長（km）／ 污水管路の整備総延長（527.465 km）	23%	24%	25%
3	計画的な浸水対策を実施するため、雨水管理総合計画策定率を0%（R7）から100%（R11）へ向上			
	雨水管理総合計画策定排水区／雨水管理総合計画を策定すべき排水区	0%	0%	100%
4	避難所等の重要施設の耐震化箇所を0箇所（R7）から5箇所（R11）へ向上			
	污水管路を耐震化した避難所等の重要施設	0箇所	3箇所	5箇所

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中核都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	管渠（ 雨水）	新設	雨水貯留槽（新世代）	雨水貯留施設助成金	宝塚市	■	■	■	■	■	5		策定済
	A07-002	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	管渠（ 污水）	改築	下水道ストックマネジメ ント計画策定（2 処理区 ）	改築計画策定等	宝塚市	■	■	■	■	■	300		策定済
	A07-003	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	管渠（ 污水）	改築	下水道ストックマネジメ ント支援制度（2 処理区 ）	污水管路改築	宝塚市	■	■	■	■	■	900		策定済
	A07-004	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場改築更新・ 耐震・耐水化	改築更新・耐震・耐水化	宝塚市	■	■	■	■	■	2,500		策定済
A07-005	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	管渠（ 雨水）	新設	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業	雨水管理総合計画策定等	宝塚市		■	■	■	■	50		未策定	
A07-006	下水道	一般	宝塚市	直接	宝塚市	管渠（ 污水）	改築	污水管路の耐震化対策	污水管路の耐震化	宝塚市	■	■	■	■	■	460		策定中	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						4,215		
											合計						4,215		